

1. 件 名：原子燃料工業株式会社東海事業所及びMHI原子力研究開発株式会社の事前説明について
2. 日 時：令和5年11月10日 9:30～12:10
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者
原子力規制庁
緊急事案対策室
澤村防災専門官、武長防災専門職、嶋崎防災専門官、蔦澤防災専門職
(以下、テレビ会議システムによる出席)
原子力規制庁
東海・大洗原子力規制事務所
足立防災専門官
原子燃料工業株式会社東海事業所
安全防護担当部長 他4名
MHI原子力研究開発株式会社
技術推進・品質保証部 技術推進室長 他1名

5. 要 旨

原子燃料工業株式会社東海事業所（以下「NFI東海」という。）及びMHI原子力研究開発株式会社（以下「NDC」という。）から、令和5年12月12日に予定されている両社合同実施による原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁から、主に以下の事項を伝えた。

- ・ シナリオについては原子力災害をより考慮した設定をすること
- ・ 両社が同じ通話システムに接続するので、緊急事態が発生した場合の発話を優先する等のルールを調整すること
- ・ 現場の対応能力向上に資するシナリオを設定すること
- ・ NFI東海は中期目標に達成目標を設定すること

・ NDCは今後の防災業務計画修正時においてEAL番号を設定すること
NFI東海及びNDCから、本日の面談を踏まえ対応する旨の回答があり、
今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と両社の訓練コントローラ間で
調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

- 資料 1 : 訓練計画説明に係る面談時の確認事項
(原子燃料工業株式会社 東海事業所)
- 資料 2 : 訓練面談時の確認事項整理票
(MHI 原子力研究開発株式会社)